

平成17年度 事務事業評価表					
〔様式1〕					
記入年月日	平成17年4月22日		記入者	内線	2624
部名	保健福祉部	課名	高齢者福祉課	課長名	市川正美
事務事業名	高齢者入所判定委員会運営事業				
予算上の事務事業名	高齢者入所判定委員会運営費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		11210		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります				
基本施策名	第2節 いきいきとした高齢社会の創造				事業開始年度
施策名	第1施策 地域ケアサービスの充実				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
相模原市高齢者入所判定委員会要綱					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 審議会・委員会・協議会 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
老人福祉法第11条の規定により、65歳以上で身体上、精神上、環境上または経済的理由による居宅において養護を受けることが困難な要援護高齢者に対して、入所判定委員会を設置し、養護老人ホーム等への入所措置の要否を総合的に判定する。				要援護高齢者	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
<ul style="list-style-type: none"> 入所判定検討会(委員会の下部組織)の開催 2回 委員謝礼 20千円 入所判定委員会の開催 2回 委員謝礼 187千円 					
措置決定数 9件					
6 関連・類似事業や他市の状況					
他市でも同様に実施					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	207	161	207	311	311
一般財源	207	161	207	311	311
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	205	197	232	364	364
事業コスト合計(a)	412	358	439	675	675
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	高齢者入所判定委員会			対象名称(単位)	審査件数(件)
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	412	358	439	675	675
対象数	14	10	9	15	15
単位あたり経費(円)	29,429	35,800	48,778	45,000	45,000
前年度比		1.22	1.36	0.92	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	入所決定者(人)		指標式と指標の説明	入所決定者 / 審査件数*100 入所決定者	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	14.0	10.0	9.0		
目標	14.0	10.0	9.0	15.0	15.0
目標達成度	1.00	1.00	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	入所決定率(%)		指標式と指標の説明	入所決定者 / 審査件数*100 入所決定者の割合	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	100.0	100.0	100.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		法令で定められた事業であり、今後も事業を推進していく	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 特になし			14 課題として認識されたこと 特になし		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			